

多摩支部会報

多摩支部総会振替号一通算48号

令和4年6月吉日発行

明治大学校友会

東京都多摩支部

支部長 當麻 功

広報委 飯田光宏



支部長挨拶 當麻 功

(S39 商 小平)

多摩支部の皆さま、こんにちは。新型コロナ感染症もようやく終息に向けて良い方向に行きだしたかに見えてきましたが油断禁物です。社会・経済活動の動きに呼応し規制も緩和されつつあり、この6月からは入国制限も大きく緩和されました。人流も物流も大きく伸びることが期待されますが、再拡大あるいは変種の侵入等々心配の種は尽きません。

多摩支部総会も17,18,19回と3年度続けて対面不可、書面決議となりました。皆様方のご理解・ご協力にお礼を申し上げます。また、この3年度間に「多摩支部総会実行委員会」としてご尽力いただきました各位に、「心から

ご苦労様・ありがとうございます」と申し上げさせていただきます。

この間に、各地域支部におかれましても思案と模索の中で、組織の結束維持と諸事業の展開に大変なご苦労を頂きました。厚くお礼申し上げます。

多摩支部は来年創設20周年を迎え、記念事業・記念総会を予定しており、既に、それらの成功に向けての準備も始めております。何かにつけご協力いただくことになるとは思いますが、「節目」を意識しご理解・ご協力を重ねてお願い申し上げます。

母校「明治大学」も和泉キャンパスに新教育棟「和泉ラーニングスクエア」を開設させ、野球部も対戦5校から勝ち点を挙げ完全優勝いたしました。その他のスポーツ部も頑張っております。是非、母校を応援・賛助いたしましょう。

以下、広報委員会ではランダムに母校記事や校友投稿記事等を載せてみました。



八幡山グラウンド近隣地に、新たに体育会競走部（長距離部門）・サッカー部合同の合宿所を建設することとなり、2023年春の竣工を目指して5月14日、八幡山地区で体育会サッカー部・競走部合宿所（仮称）新築工事の地鎮祭を執り行いました。地鎮祭には、大六野耕作学長をはじめとする大学関係者らと、両部の部長・監督が参列。（出典：明大広報762号）



体育会硬式野球部は5月23日、春季リーグ戦で立教大学3回戦に1-0で勝利し、2019春以来となる6期ぶり通算41度目の優勝を決めた。

リーグ戦を10勝3敗2分けで終え、全5校から勝ち点を挙げる完全優勝を達成した。

（出典：明大広報762号・ツイッター）

（関連投稿記事次ページ以降に掲載）



名誉教授の称号を授与

明治大学は4月1日付で、大学に長年在籍し、教育面や学術面で顕著な功績を挙げた23氏に対し、名誉教授の称号を授与しました。6月1日には駿河台キャンパス・リバティタワー23階の岸本辰雄ホールで称号記授与式が挙行されました。（出典：明治大学ニュース）

「権利自由」「独立自治」を建学の精神とする本学は2022年3月2日にロシアのウクライナへの軍事侵攻に対し、学長メッセージを公表しています。（既報）

また、本学はこれまでも「UNHCR難民高等教育プログラム（RHEP）」のパートナー校として、2011年から日本に住む、日本国籍を持たない難民の方を毎年受け入れてきました。こうした状況を踏まえ、人道的な支援として、軍事侵攻を逃れ日本へ入国し、学びの継続を希望するウクライナの学生に学びの場を提供することを決定しました。

■受入支援策 概要

1 支援対象

ロシアによるウクライナへの軍事侵攻を逃れるために日本へ入国し、本学で学ぶことを希望する、ウクライナの大学に所属する学部生・大学院生

2 受入人数 非正規生（科目等履修生、研究生等）として、最大10名程度

3 受入期間 2022年度秋学期～2023年度春学期（予定）

4 支援内容 （1）本学における学修機会の提供（日本語教育含む）（2）日本への渡航費（3）学費等の免除 （4）本学所有宿舎の提供 （5）生活費の支給（出典：明治大学ニュース）

6月9日現在、ウクライナからの学生の受け入れを募集している大学は東京大学等36大学となっています。この度「パスウェイズ・ジャパン」などの民間支援団体はすでに国際基督教大学や上智大学などと連携して学生の受け入れを進めていますが、新たに、早稲田大学、慶応大学、明治大学、立教大学など全国13の大学や大学院とも連携し、15の大学で合わせて70人程度を受け入れる計画だということです。NHKNEWS



あなたの母校（高校）はベスト3に入っていましたか



表作成：多摩支部広報

2022都道府県別高校別合格者数ベスト3

2022都道府県別高校別合格者数ベスト3						合格者数上位20校					
北海道	札幌南	50	福井	藤島	13	広島	修道	37	1	厚木	227
	札幌西	45		高志	5		広島学院	21	2	川和	215
	旭川東	23		仁愛女子	5		広島女学院	17	3	柏陽	213
青森	青森	20	山梨	北陸	5	山口	山口	15	4	湘南	199
	弘前	16		駿台甲府	22		慶進	7	5	青山	189
五所川原	6	甲府南		16	野田学園		4	6	県立浦和	188	
岩手	盛岡第一	40	甲陵	14	徳島	城東	6	7	山手学院	179	
	一関第一	6	長野	県立長野		51	城ノ内	6	8	市川	169
	盛岡第四	6		松本深志		39	徳島文理	5	9	市立浦和	167
宮城	仙台二	47	上田	33	香川	高松第一	15	9	国立	167	
	仙台第一	40	岐阜	岐阜		39	高松	12	11	西	165
	仙台第三	31		多治見北		18	高松商業	11	12	大宮	163
秋田	秋田	9	岐阜北	13	愛媛	愛光	37	13	本郷	162	
	横手	9	静岡	浜松北		86	松山東	15	14	春日部	161
	大館国際	3		沼津東		84	今治西	9	15	私立城北	158
山形	山形東	19	静岡	75	高知	土佐	25	16	東葛飾	157	
	市立商業	13	愛知	東海		47	高知西	5	17	桐蔭学園	156
	山形商業	9	旭丘	43		高知学芸	2	18	開智	154	
福島	安積	32	菊里	40	福岡	高知中央	2	19	横浜翠嵐	151	
	磐城	27	三重	四日市		33	明德義塾	2	20	千葉東	148
	県立福島	20		高田		19	佐賀	修猷館	48	明治大学付属校は除く	
茨城	水戸第一	80	桑名	11	福岡大大清	29					
土浦第一	55	滋賀	膳所	10	筑紫丘	28					
江戸川学園	50		彦根東	8	長崎	早稲田佐賀	8	参考			
栃木	宇都宮		77	石山		5	唐津東				7
	石橋	44	京都	洛南		14	佐賀西	6	明大中野八王子	279	
	宇都宮女子	33		西京	9	熊本	青雲	12	明大明治	241	
群馬	高崎	79		東山	5		長崎西	7	計	868	
	県立前橋	71	洛西	5	長崎東		6	大分	大北上野丘	20	
	県立太田	65	大阪	北野	14	岩田	8		大分東明	7	
埼玉	県立浦和	188		大阪光星	7	大分豊府	7		宮崎	宮崎大宮	11
	私立浦和	168		明星	7	熊本	14	宮崎日大		8	
	大宮	163	兵庫	報徳学園	17	熊本学園大付	14	宮崎学園		6	
千葉	市川	169		須磨学園	16	大分	大北上野丘	20	宮崎西	6	
	東葛飾	157		兵庫	11		岩田	8	宮崎第一	6	
	千葉東	148	奈良	西大和学園	19		大分東明	7	鹿児島	鶴丸	24
東京	青山	189		帝塚山	12	大分豊府	7	ラ・サール		14	
	国立	167		東大寺学園	8	宮崎	7	甲南		7	
	西	165	和歌山	智弁和歌山	8	宮崎日大	8	屋久島おおむ	7		
神奈川	厚木	227		桐蔭	8	宮崎学園	6	沖縄	N	44	
	川和	215		田辺	5	宮崎西	6		開邦	13	
	柏陽	213	鳥取	鳥取西	8	宮崎第一	6		昭和薬科大学	12	
新潟	長岡	44		米子東	8	鹿児島	鶴丸	24	その他	外国の学校	406
	新潟	37		米子西	6		ラ・サール	14		高卒認定・資	105
	新潟明訓	20	島根	松江北	8		甲南	7		その他	5
富山	高岡	40		出雲	2	屋久島おおむ	7	その他	外国の学校	406	
	富山中部	31		岩見智翠館	2	N	44		高卒認定・資	105	
	富山	22	益田	2	開邦	13	その他		5		
石川	金沢泉丘	30	岡山	岡山朝日	14	昭和薬科大学	12	その他	外国の学校	406	
	小松	13		鹿島朝日	10	高卒認定・資	105		その他	高卒認定・資	105
	金沢二水	10		岡山操山	9	その他	5				



出典：明大広報
第762号



写真：出典
野球部公式web



東京六大学野球 明治大学対立教大学 第3戦を観戦して

5月23日神宮球場で春季リーグ明大対立大3回戦が行われ、わが明大が立大に延長11回1-0でサヨナラ勝ち2勝1分けで勝ち点を5とし、森下投手（現広島）の時の2019年春季以来6季ぶり41度目の優勝を決め全5校から勝ち点を挙げ完全優勝を達成しました。

明大は投手蒔田が10回4安打無失点と好投し、千葉投手が11回後続を断ち、その裏ワンアウト満塁で、6番キャッチャーの蓑尾がライト犠牲フライを打ち、3塁ランナーが生還決勝点を挙げました。

明大応援席は全員総立ちとなり懸命の拍手を送りました。試合後のエールの交換では校歌を3番まで歌い、最後は優勝した時にのみ歌う「神宮勝歌」を斉唱し、感激と喜びを胸に夕暮れ迫る神宮球場を後にしました。

（国立地域支部 沼尻 哲さん、越智 浩治さんと3人で）。

当日は快晴の下ではありましたがコロナ禍で応援が規制される中、明大応援団の皆さんは女性応援団長を中心に、試合の最初から最後まで立ったまま声をからし懸命に応援しました。我々OBも声を出せない中で拍手を送り、紫紺のタオルを振って懸命に応援をしました。

これまでの決勝戦の時とは違って観客が少ない中でも11回裏決勝点が入った時は、わが明治大学が現役学生も卒業生も全員が一体になっ

たような高揚感、感激を味わい喜びを共にし、私の目にもジワーと来るものがありました。

私は昭和36年入学した春に明大は優勝しました。以来今季まで何度も優勝を重ね、私も何度も優勝の場に居合わせ、その喜びを共に味わってきました。そして明大の選手の中で、その後プロ野球で活躍するたくさんの選手の姿を見つけてきました。

私が明治大学に入学しようと思ったのは、小学校、中学校の頃に六大学野球のラジオ中継があり、優勝した明治大学校歌を聞いたからです。ラジオを聞き始めたのは昭和27年頃からです。多摩支部・国立地域支部相談役、岩崎さんがエースピッチャーとして、戦後初めて明治大学が優勝された頃の事だろうと思います。

その名校歌が心にとどまり、高校生になってから進路を考えた時「俺は明治大学に行くぞ」と心に決めました。

以来60年以上、私の気持は明治大学にあります。野球、箱根駅伝、ラグビー等は特に心が躍ります。

今季コロナ禍にある中で、野球は従来通り勝ち点方式で試合が行われ、私も80歳になった今日、神宮球場で直接優勝戦を応援できた事は、これまでになく心の高揚感、感激を覚えました。

6月6日から大学選手権が行われます。是非大学日本一に輝いてほしい。そして神田の町をパレードして頂きたい。

そのように祈っています。

5月25 圓子 彰男氏 (S40 経営 国立)

餅付きが待ち遠しい!



6月11日土曜日、餅つき大会用のもち米の田植えを4支部（国立・国分寺・日野・あきる野）から20名の参加いただき、沼崎校友の所有する国立の田圃で行いました。



「21 地域支部を知ろう！ 写真でスタンプラリー」

第1回小平地域支部：グリーン
ロードを歩こう～実施報告



風薫る深緑眩しい五月晴れに恵まれ、5月4日9時40分集合場所の西武国分寺線小川駅に参加予定の国立3名、国分寺2名、日野2名、小平9名の4地域支部16名が集いました。

新たに作成の小平地域支部紹介とトイレ場所入りの散策コースガイドと小平出身体操村上茉愛案内人の小平まち巡りコースMAPを配布し、當麻支部長の挨拶後10時にスタートしました。

広大なブリヂストン東京工場を右に見ながら写真場所①九道の辻を通過、歩道と自



転車道専用の狭山・境緑道を東に向かい、小平駅南口で写真場所②日本一丸ポストを通過、緑のトンネル、彫刻の小径、両側に咲く花々を觀賞しながら写真場所③ふるさと村隣接の公園で昼食休憩、ここまで2時間よく歩いてきました。十分に休憩して後半スタート、新



小金井街道を南下途中では近くに住む小平地域支部中村副支部長が皆さんに手渡してチョコをプレゼントしてくれまして心遣い嬉しかったです。

また、自転車で偶然通りかかった小金井地域支部黒木幹事長が旗をご覧になってびっくりされていました。

次の写真場所④鈴木遺跡資料館（国の史跡に指定、後期旧石器時代-今から約38,000年16,000年前の遺跡）を見学、玉川上水道に入り西のゴール鷹の台駅を目指します。小金井桜の遊歩道をひたすら歩き、ゴールはまだかまだかとの弱音を慰めながら写真場所⑤小平市平櫛田中彫刻美術館に到着、



「60、70は鼻垂れ小僧、男さかりは百から百から」「今やらねばいつできる、わしがやらねばたれがやる」などの名言を残した彼に見習い奮起してゴールを目指します。

ミ二機関車で料理を運ぶ料亭「いろりの里」を見学して右手に津田塾大学を眺めながら最後の写真場所⑥小平市ふれあい下水道館をみてゴールの鷹の台駅（小平市中央

公園)に14時45分に到着しました。



約10km、約2万歩、約5時間の「第1回21地域支部を知ろう」でした。

完歩者は12名でした(なんと国立の沼尻さんも完歩されました)。ゴールでは、小平地域支部の女性役員2名(松田副支部長と伊集院副幹事長)から差し入れのアイスもなかと参加賞の「こだいら丸ポストサブレ」、當麻支部長差し入れの缶ビールで乾杯しました。

距離が長く心配はしましたが、小平の名の如く平坦で、自分の歩調に合わせ、みんなが声を掛け合い、付き添いながら、ゲガ完治間もない方の途中退きはありましたが、五月晴れの深緑の遊歩道を参加地域支部の皆さんが談笑しながら交流することができました。

コロナ禍で開催できなかった地域支部間の多摩支部行事もこのような形でも実施できれば継続していきたいと思っています。

次は、どこの地域支部を歩こうになりますか、ご期待ください。以上

記事：土井隆夫氏 (S45 商 小平)



対 帝京大学戦応援記



5月29日に静岡県のエコパスタジアムで関東春季交流大会帝京大学戦が行われました。

春シーズンに入り、早稲田、大東大、慶應との試合を勝ち進んできた明治に対し帝京は新型コロナの影響で春季交流大会初戦です。

正月の大学選手権の決勝戦では、スクラム、密集戦で圧倒され、どんな試合展開になるか、現時点での立ち位置を見極めるためにも注目の一戦です。

前半7分に帝京に先制を許しましたが、その後の22分にはトライを返し、同点としまし

た。

その後はそれぞれ得点を追加しましたが、帝京がコンバージョンを1本外したので14対12で明治リードで前半は終了。

後半は明治が追加点を取り、21対12とリードを広げましたが、その後に帝京に連続して得点を許し、34分には21対26と逆転されてしまいました。

しかし、残り時間が少なくなっても、現場で観戦していた我々明治ファンは不思議と落ち着いていられました。

正月の対戦とは異なり、スクラム、ラインアウトのセットプレーが安定しており、ブレイクダウンでも帝京を圧倒していたからです。

試合を通しての反則は帝京の12に対して明治は7(後半は帝京の7に対し明治は4)でした。

最後は2トライ、2ゴールを追加して、35対26でノーサイド。

正月の借りを返すことができました。

去年は同じエコパの試合で明治に勝って帝京は波に乗ったように、今年の春季交流大会での帝京戦の勝利はチームにとっても自信に繋がるものではないかと思えます。

記事：越智浩治氏 (S59 商 国立)

「ゴルフを通じてすてきな人へ」 ゴルフ部 村上 美空

文/守屋 沙弥香(文2) 写真/本人提供



たくさんの人との関わりが、競技生活、さらには自分自身を豊かにする。幼稚園生の頃から中学校卒業まで、父とゴルフの練習を行っていた村上。高校は地元・愛媛を離れ、生光学園に進学。村上が入学する年にゴルフ部が創部されており、友人から入部を誘われていたことが決め手となった。高校時代、年齢を問わずさまざまな人と出会い「自分一人ではできないこと」を通じて充実した日々を過ごした。

身近な仲間の存在は支えとなり時に刺激となる。高校1年次、同期の女子部員2人に飛距離で負けており、ラウンドでも顕著に差が

表れた。「このままではいけない」。

そこで体重の増量を決意。つらさも伴ったが、強くなりたいという意志に揺らぎはなかった。5カ月に及ぶ食事の管理と筋力の増加を遂行し、同期と並ぶ飛距離を出せるようになった。高校3年次にはゴルフ部の主将を務めた。自分たちの代が1期生であるため、活動の前例は存在せず「最初のうちは苦戦した」。だが、同期が良き相談相手となり、模索しながらも部を築いていった。また、部活動の一環でキャディーを経験。年配の方と多く接し、お客様や初対面の人との接し方を身に付けた。

今春、明大に入学した。「明治は私にとってパーフェクトな大学」。ゴルフと勉強の時間を自己管理できる点に魅力を感じ、上京を決めた。大学4年間での目標は「リーグで優勝し日本一になること」。

明大ゴルフ部女子は2019年に日本一の座を手に入れている。「ゴルフと真剣に向き合っている姿がきらきらして見えた」。当時の明大の先輩の姿は胸に深く刻まれている。「先輩のように、ゴルフプレーヤーとして、そして人としてもすてきだと思われるような人へ」。新天地で彩り豊かな自分へと進化してみせる。(むらかみ・みく 法1 生光学園 158センチ)

(出典：明大広報第762号)



フェンシング部女子全日本学生王者初制覇
明大広報ツイッター



弓道部団体戦関東学生選手権初制覇
明大スポーツ

編集後書 明治大学校友会東京都多摩支部第19回定時総会も3年度続けての「書面決議」となってしまうまい。直前までご準備いただいた関係各位のご尽力に深く敬意を表します。この間、野球部の41度目の優勝や明治大学 高校別合格者数の発表もありました。

国立地域支部を中心とした恒例の田植えや第1回多摩支部スタンプラリー、野球・ラグビーの観戦・応援記もあり、投稿記事もいただきましたので、集約し、多摩支部会報として取り纏めました。

他にも、パソコンを検索すると、応援団指導班女性班長誕生の記事もありましたが、機会があればご紹介しようと考えています。(多摩支部広報委員会 飯田光宏 s39 法 町田)